

令和3年度大阪府障がい児等療育支援
事業地域別交流（研修）会

～対人援助の基本とは？～

社会福祉法人北摂杉の子会
理事長 松上利男

対人援助の基本



自己理解と他者理解

何故自己理解が大切
なのでしょう？

自分自身を知ろう♡

グループワーク

- ① 5年後のあなたの姿は？
- ② あなたが乗っている大型船が沈没します。➡ 救命ボートに乗って脱出します。しかし、全員ボートに乗れません。皆さんにあなたが生き延びたい理由を皆さんに伝えて説得して下さい。

他者どの様な影響を与えているのでしょうか？

ロールプレイ

子どもが学校から帰ってきました。子どもが「友だちと遊ぶ約束をしたから、遊びに行ってきます」と言う。

お母さん（お父さん）は、「宿題をしてから、遊びなさい」と子どもに言います。子どもは、「友だちと遊んでからか宿題をするよ」と主張し続けます。

他者理解

「ある人を理解するためには、その人の理解していることを理解しなければならない」



セーレン・キェルケゴール

支援者に求められること

- エビデンスベースの支援 ➡ 説明ができる支援
- ニーズベースでの支援
- 合理的配慮 ➡ 障害特性に応じた支援と環境の提供
- 支援者に求められること ➡ 倫理、感性、想像力

利用者の権利を理解し、その擁護に邁進

【利用者の権利】

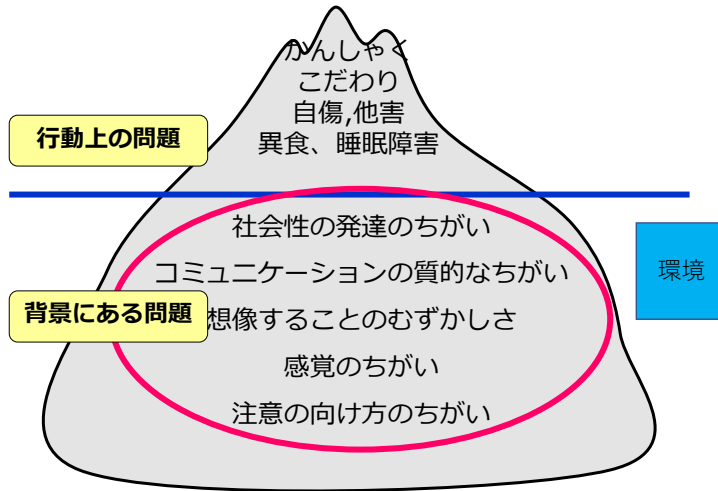
- (1) 地域社会で生活する権利（地域社会とのつながりを維持する権利）
- (2) 個別ケアを受ける権利
- (3) 質の高いサービスを受ける権利
- (4) 自己決定・自己選択を受ける権利
- (5) わかりやすい情報を受ける権利（Right to Know）
- (6) 意見・質問・苦情などを表明する権利
- (7) プライバシーに関する権利
- (8) 自己尊重の念と尊厳を維持する権利

私たちのコア・バリューは何か？ -どのように価値を生み出すのか？-

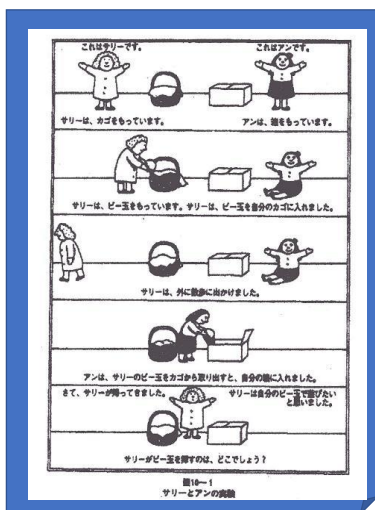
【ある社会福祉法人における利用者支援のコア・バリュー】

【統合化】	利用者の障がい状況に関係なく、利用者に対する支援を地域社会との繋がりの中で行うことを基本とします。
【個別化】	利用者のそれぞれのニーズに基づいた個別的な支援を推進します。
【専門性】	利用者の持つ様々な障がいや心理的社会的問題、ニーズを理解し、利用者自身がその問題を解決し、そのニーズを実現する為の専門的な支援技術の向上に努力します。
【地域】	地域に暮らす知的な障がいのある人やその家族に対して、施設の機能、専門性を活用し、積極的な支援を行います。
【連携】	利用者本人を中心として、家族や関係機関、地域住民との連携を大切にし、トータルケアを推進します。 また、支援を行う上で、職員間の連携を大切にします。
【人権】	利用者の人権を中心に据えた支援を行います。 利用者の個性、年齢に応じた支援を推進します。 また、社会に対する啓発運動を積極的に行います。

特性の理解：冰山モデル



特性の理解：サリーとアンの課題



- 定型発達児では4歳でこのテストをクリア
- 4歳のダウン症児でも86%がクリア
- しかし4歳児の自閉症児では80%が誤回答
- 人の気持ちを感じ取ることの難しさ
- 他者も自分と同じように考えていると考えやすい

福祉サービスの特徴

【無形性】

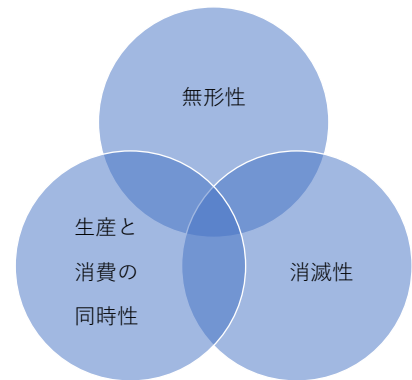
- ・ 人的活動である福祉サービスは、電化製品のように形として現すことができない。無形であるということは、実際に使ってみるまでは実態が分からず、評価も出来ない。

【生産と消費の同時性】

- ・ 提供する支援サービスは、生産と消費の同時性がある。一旦、提供したサービスは、やり直しがきかない。

【消滅性】

- ・ 一旦、提供した支援や援助というサービスは、その内容いかんに関わらず、形としては残らないという特性を有している。



結果として
マンネリ化しやすい！